

5年 道徳

主題名 相手の立場にたつて
中心内容項目 B 主として人との関わりに関すること(相互理解, 寛容)
 ブランコ乗りとピエロ(私たちの道徳)
 平成27年 5月 18日 2校時
 児童 5年 1組 31名
 授業者 小林 香織

1 主題設定について

本時でとりあげる内容項目は、「謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする。」である。ものの見方、考え方、感じ方は人それぞれである。物事を判断するときには、自分本位になりやすい。しかし、他人と円満な関係を築くためには、自分本位であってはいけない。相手の立場を考え、思いやりの心をもって、折り合い、譲り合うことや許し合うことによって円滑で豊かな人間関係を築くことができることに気づくことが大切である。人は自分に対して謙虚であるからこそ他人に対して寛容になることができる。そこで、謙虚な心で相手に接し、相手を認めようとする広い心をもつことが大切であることに気付かせたい。

2 他教科・他領域や日常指導などとの関連

争いが起きたときに十分に話し合いをさせることは、相手の立場を理解し、他人の過ちを許せる広い心を育てるためのよい機会である。自分の立場を守ろうとしたり、自分の考えに固執したりするのではなく、相手の立場を考慮して問題が起きた原因を考えさせるようにしたい。

3 児童の実態

省略

事前アンケート調査結果

これまでに友達と考えが合わずに困った経験はありますか。	ある・・・27人 ない・・・3人
それは、いつ、どんな時ですか。	遊ぶ時。授業中。係りの時。学級会。学芸会。休み時間。
その時、あなたはどうしましたか。	声をかける。話を合わせた。友達に合わせた。がまんする。考えに合わせる。多数決。ゆずった。
意見や考えが合わない時、どうしたらよいと思いますか。	しっかり話し合う。相手の気持ちを考える。お互いが納得する考えを見つける。相手のことを考える。友達に教えてあげる。考えに歩み寄る。どちらかが譲る。

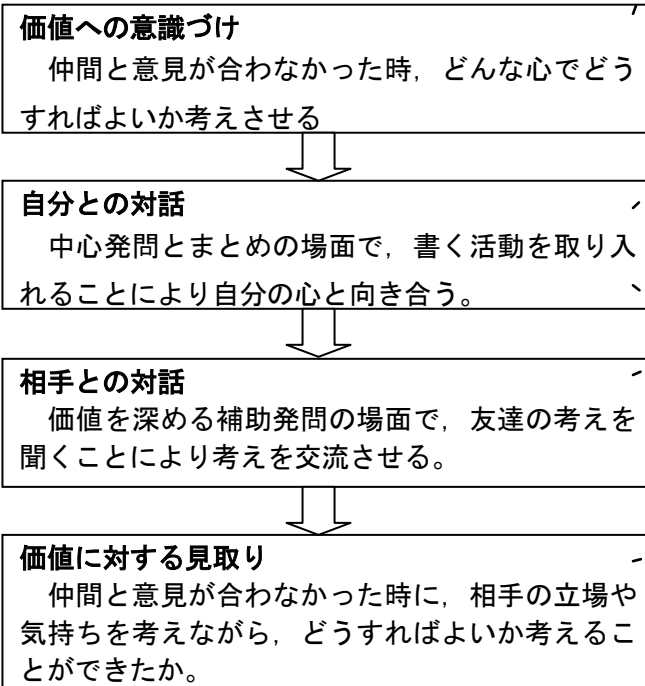
4 資料分析

本資料は、ブランコ乗りとピエロとのスターの座をめぐる対立に焦点を当てた話である。これからの児童の生活の中で出会うであろう他者との対立場面において、考え方のよりどころにしての『寛容と謙虚について学ぶことができる資料である。前半部分は、ピエロとサムと言動は、互いに相手に対して素直になれず対立しながら児童に共感的に理解されることと思われる。後半部分は、目立っているのはサムへの憎しみではなく、逆に尊敬するピエロの言葉に驚きを覚えるかもしれない。しかし、サーカスのリーダーとしてのピエロの言葉により、謙虚で広い心をもって行動するとはどういうことかを考えるよい機会を与えてくれる資料である。

価値を自覚したのは誰	ピエロ
起きた出来事、助言は何	演技を終えてぐったりしているサムと、舞台へ向かうピエロがすれちがった。
価値を自覚したところはどこ	「お互いに、自分だけがスターだという気持ちは捨てなければならぬと思うんだ。このサーカス団のためにも。」

5 「自分の心と向き合う道徳」(ハートフル道徳)

【思考の流れ】



6 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ピエロの心の変容を読み取ることを通して、自分と異なる意見や立場を広い心で受け止め、大切にしていこうとする心情を育てる。

(2) 本時の展開

	活動内容・予想される児童の反応	教師の支援・評価・研修との関わり 支援●評価□研修との関わり◎
体験を想起する	1 友達が自分と違う意見や立場をとったらどうするか、体験を想起する ○友達と意見や考えが合わずに困ったことはありますか。 ・遊ぶとき何をやるかでもめた。学級会の時、意見が合わずに困った。 ○そんな時、どうしますか。 ・自分の意見を話す。話し合う。友達の意見に合わせる。 ※ 事前にとったアンケート結果を知らせ、道徳的価値への意識につなげる。	●素直な子ども達の意見を引き出せるような雰囲気づくり。 ●考えを創造する場面でも活用できるように板書する。 ●資料の内容を理解させるために、児童に前もって読ませておく。 ◎事前にアンケートを取ることで問題意識をもたせ、価値への意識づけへとつなげる。
心を耕す	2 資料「ブランコ乗りとピエロ」を読んで話し合う (前半の場面) ピエロとサムの立場や関係を確認する。 ピエロ・・・古くからのスター、リーダー サム・・・半年前に入団しスター気取り ○ピエロはサムのことをどう思っているのだろう。 ・いつも、腹をたてている ・生意気で自分勝手 ・サムのせいで、大王様の前で演技することができなかった (後半の場面) ピエロの心からサムを憎む気持ちがなくなったことを確認する。 ピエロ・・・演技を終えたサムの姿を見て、怒りが消えておだやかな気持ちになった。	●挿絵を使いながら、教師が前半と後半に分けて全文を通読する。 ●ピエロの立場にたつて、資料を読み進めていくことで、サムに対していつも腹を立てていたピエロの気持ちに共感させる。
考えを創造する	◎ピエロが変わることができたのはなぜでしょう。 ・サムがサーカスのために頑張っていることに気付いたから。 ・サムが観客のために一生懸命だったことに気付いたから。 ・ピエロも自分の考えにこだわりすぎていたから。 ・ピエロもサムの思いをわかろうとしていなかったから。 ○どうしたら意見や立場の違う相手と分かり合うことができるのでしょうか。 ・相手の立場にたつて考えることで相手の気持ちや思いに気付くことができる	◎自分との対話 ノートに自分の考えをまとめる。その後、近くの友達と意見を交流し、話し合った内容を踏まえながら全体に発表させるようにする。 □道徳的心情(ノート・発表) 相手の立場や気持ちに歩み寄る大切さを感じることができる。 ◎相手との対話 友達の意見を聞きながら、ピエロの心の変容を共感的にとらえていく。 □道徳的判断力(発表) 相手の立場や気持ちを大切にするための判断ができる。
発信する	3 自分の心と向き合い、価値を深める ○友達と学校生活を送る中で意見や考え方が違った時、どのように考えることが大切なのでしょう。 ※ 事前にとったアンケート結果の内容を例にあげ、再度考えてみる。 4 本時のまとめをする 《価値に対する見取り》 仲間と意見が合わなかった時、どんな心でどうすればよいのでしょうか。	●私たちの道徳 ◎自分との対話 自分と異なる意見や立場を大切にしながら生活していこうとしているか。 □道徳的実践意欲(ノート・発表) 相手の立場や気持ちを大切にしながら、考えて行動しようとする意欲を高める。

(3) 本時の評価

- ピエロの心の変容を読み取ることを通して、自分と異なる意見や立場を広い心で受け止め、大切にしていこうとする心情をもつことができたか。(発表・ノート)

